

④ 三次 ▶ 世羅 コース

▲三次市街へ
※約 8.5km

みらさか竹工房
「はなかご」

三次

三良坂

吉舍

宇賀

甲奴

上下

路に

ワニ食べるor食べない？

「ワニ」とはサメのことで、冷凍技術が未発達だった頃、山間部である備北地域では魚を口にする機会が少なかったが、サメは保存がきくことから重宝されたという。お店の方によると、「秋祭りやお正月には必ずと言っていいくらい食べるし、普段の食卓にも並ぶ郷土料理」だそうだが、「三次や甲奴は食べるけど、上下ではあまり食べない」などの地域差もあるようで、なかなか興味深い。



三
次

世羅

銀の道
Walking & Cy



銀山を支えた白炭の里と、
白壁の映える金融の街へ。

三次～塩町
詳細はMAP ①
③をご覧ください

MAP左上に続く

吉舎ふるさとプラザ Xa104 
吉舎歴史民俗資料館／美術館あーとあい・きさ

じょうげ
上下へ
運上銀の道へ

せら
世羅へ
銀山街道へ

世羅

せ らちょう ふ ちゅうし
〈世羅町〉 〈府中市〉

ふちゅうし
府中市

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。（承認番号 平30情復 第575号）

①一字一石塔
南無妙法蓮華經
共に、一字ずつ刻
があった。水難に
の供養のため置
う説が残っている

⑤吉舎歴史民俗資料館
三玉大塚古墳からの出土遺物や、備後国の有力国人「和智氏」関係資料の展示のほか、この地方の農家を復元したコーナーなどがある。

②奥家住宅

⑥ 歴史的街並み

⑨八王子神社の常夜
この常夜灯には天照皇
神、巖島大明神などの
が見え、塔身そのもの
神体を兼ねている。

⑫ 旧郷宿跡

かつて役所の仕事を代行する「郷宿」と呼ばれる公事所があった。その名残を示す虫籠窓(むしこまど)やうだつが残されている。

③下素麺屋の一里塚
1633年頃幕府は主な街道
約4km毎に、塚を作り松を
植えさせた。一里松は平成
4年松食い虫のため枯れ、
今は切り株が残っている。

⑦宇賀の辻堂
地元では、郷地蔵(う)さんと呼ばれて
の道はこの先で「宇賀ト」と「尾道ルート」
る。

⑩ 上下大師堂
旧街道に面しており、町の入り口となる場所に大師堂が建立されている。今でも、地域の人々の信仰が厚く、供え物が絶えない。

⑬ 天領代官所跡
幕府の天領であった上下には、代官所が置かれていた。現在は役場支所となっているが、石垣は当時のまま残っている。

④田中写真館

⑧頼藤の道標
 広石から越えると頼藤に出る。街道の交差点に三角柱の道標が残されている。三角柱の形を残したものは非常に珍しい。

⑪ 旧角倉家の横門
この門はもともと代官所の門であったが、角倉家が払い下げを受けたもの。すぐ近くの外門も見応えがある。

凡例

<大森～尾道 ルート> — 銀の道 <宇賀～笠岡 ルート> — 銀の道 ● 主な施設 P 駐車場・駐車可能場所 轉 トイレ Q 道標・石碑	— 銀の道(サイクリング) — 銀の道(サイクリング) ● 拠点 交流の場 と 拠点スポット と トイレ(車いす可) フ レストラン・食堂
--	--

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所もあります。
 通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートを通り回してご利用ください。

「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。
 交通法規を守り、迷惑運転にならない様、ご注意ください。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号: 平30情復、第575号)



①砂田木徳堂と古道
砂田の木徳堂に古道がそのまま残っている。この辻堂の梁などには、江戸時代のお店の宣伝書きが残っており興味深い。



⑤世良八幡神社
世羅郡の宗社と言われ、銀の道に面している。鎌倉時代の古文書に「世良彦社」という記述があり、古くから鎮座していた。



道幅7尺(約2.2m)の江戸時代の古道がそのままの形で残っている。街道はここから山の尾根道を下り、御調町公文へ向かう。



②もみの木の日本回国塔
回国塔は巡礼者が諸国をめぐる際、奉仕作業として建てたもの。「右みはら・左おのみち」「文化13年」(1816)と彫られている。



⑥宇津戸常夜灯
かつての宿場町の雰囲気を残す街並みの旧国道沿いにある常夜燈。道は宇津戸の街の中心である観音寺に向かっていて。



⑩公文の辻堂・常夜灯
耕地整理による移転があったと思われる所に、辻堂と常夜灯が建っている。かつては、この辺りに街道が通っていたと思われる。



③赤屋神社
創建時期は不明だが、鎌倉時代の終わり頃にはあったと推察される。社叢は昭和26年に広島県の天然記念物に指定されている。



⑦観音寺の道標
宇津戸には、かつての宿場町らしい景観が残り、観音寺の前に石州街道を示す道標が建っている。



⑪高尾の辻堂
今でも道行く人の休憩場所として、充分使えそうな立派な辻堂。屋根の中心に仏式霊廟の宝珠露盤のような装飾がほどこされている。



④今高野山総門(仁王門)
「今高野山」の総門として室町時代に建立された。門をくぐって右手にお銀蔵があったとされる。



⑧姥石
1309年、庄園が領家分と地頭分と分けられた。その境となった所に「姥石」と呼ばれる境界石が残っている。

凡例

- 銀の道
- 銀の道(サイクリング)
- 主な施設
- 拠点スポット
- 駐車場・駐車可能場所
- トイレ(車いす可)
- トイレ
- レストラン・食堂
- 道標・石碑

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所も有ります。通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートをご利用ください。

「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

5

世羅 ▶ **御調**

銀の道
Walking & Cycling

庄園の歴史と古寺の伝承、
ロマンあふれる街道をゆく。



路上にて

駅伝と梨の町・世羅でスッキリ/☆

「甲山いきいき村」で、ポップなラベルの飲み物を見つけた。その名も「世羅っとした梨 ランニングウォーター」。駅伝の名門、広島県立世羅高校の生徒たちがネーミングやラベル、味などをプロデュースして共同開発したという。お店の方によると、「スッキリとした飲み口で汗をかけた後にピッタリ」とのことで、売れ行きも好調という。売上の一部は世羅高校の陸上部後援会に寄付されている。地域の人たちの世羅高校に対する思いも詰まった一品だ。

標高

[m] 600
500
400
300
200
100
0

0 5 10 15 20 [km]

ふちゅうし 〈府中市〉
せらちよう 〈世羅町〉
おのみちし 〈尾道市〉
ふちゅうし 〈府中市〉

道の駅世羅 / (一社)世羅町観光協会
大田庄歴史館
甲山いきいき村
尾道自動車道
天然温泉尾道ふれあいの里
圓鰐勝三彫刻美術館
道の駅「クロスロードみつぎ」

0 1,000 2,000 3,000m

6

御調
みづぎ

▶▶▶

尾道
おのみち

銀の道

▶▶▶

Walking & Cycling

中世・近世の遺跡を残す、 風光明媚な港町に到る。

銀の道の終わりは、海の道の始まり。

35里(140km)に及ぶ「銀の道」は、尾道で終点を迎える。と同時に、尾道は「しまなみ海道」のスタート地点でもある。尾道水道を眺めると対岸の向島まで渡船が行き交うのが見える。尾道と向島の間に架かる「尾道大橋」には歩道が無いため、自転車や歩行者は渡船を使うのが一般的。ほんの数分だが、坂の町・尾道の景色を海から眺める船旅もなかなか新鮮。しまなみ海道のサイクリングコースには、道の端にブルーラインが引かれており、今治までのルートを案内している。



路上にて



①東畑の古道
国道184号線の東側の山の斜面を通り、市(いち)から畑(はた)へと向かう古道。途中に一里塚跡がある。

③身代わり地藏
尾道市内各所にこうした辻堂が残っており、四つ堂とも呼ばれている。この室内には、身代わり地藏が安置されている。

⑤三成の常夜灯
道沿いに建っている常夜灯。その足元の石には、願事を唱えながら石棒でたたいた痕が残っており、「杯状穴」と呼ばれている。

⑦長江の道標
街道は県道363号から東よりの通りに入る。ここは豊問屋街となっており、かた隅にた出雲街道を示す道標が残っている。

⑨丹花小路(たんがしやうじ)
銀の道はここでJR山陽本線で分断され、線路の南側では丹花小路と呼ばれる狭い道となる。小路沿いには常夜灯も残っている。

⑪出雲大社道起点の碑
街道に残された出雲大社道の起点を示す碑。尾道から出雲大社を目指す旅人の起点となる場所である。

②市原の辻堂・常夜灯
市原の道沿いに辻堂と常夜灯が建っている。1860年に建てられた常夜灯は「尾道石工」の手によるもので、上に狛犬が載っている。

④三成の六地藏
周辺の様々な古石塔、五輪塔を集め祀っている。中世には、この近くに生活の場があり、墓地もあったことが想像される。

⑥馬小屋跡
かつて、街道沿いには乗換用の馬が用意しており、その馬小屋と思われる跡がここにあった。現在は駐車場となっている。

⑧豊問屋
県道363号より東に一本入った通りに、豊問屋街の名残をとどめている建物がある。今はここだけが往時の面影を残している。

⑩尾道の本陣跡
輸送隊を率いた代官所役人が宿泊した本陣(笠岡屋)跡には、今でも立派な礎石が残っている。銀はここから船で積み出されたと思われる。

⑫住吉神社
当時とは社の向きが違うが、今も昔も海の安全を見守っている。銀を積んだ船もここで安全を祈願したことだろう。

凡例

— 銀の道	— 銀の道(サイクリング)
● 主な施設	● 拠点スポット
P 駐車場・駐車可能場所	♿ トイレ(車いす可)
♿ トイレ	🍽 レストラン・食堂

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所も有ります。通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートをご利用ください。

「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。承認番号：平30情復(第575号)